

科目名	看護概論	必修・選択	授業形態		開講時期		
区分	専門科目		講義		1年 通年		
担当者	青野容子	資格	看護師	実務経験	有・無	時間	35時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>看護の概念および本質を学び、看護の対象、役割について理解し、看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の概念および本質とはなにか、看護の対象である人間とはどんな存在であるか、看護がなにを目的とし、どのような方法で行われるかについて考えることができる。 2. 看護の歴史、概念や理論、医療専門職としての看護職の役割や責任・倫理などを理解できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. } 看護とは 2. } 3. } 4. } 5. } 6. } 看護の対象としての人間 7. } 8. } 9. } 健康と保健・医療・福祉 10. } 11. } 看護活動 - 看護の実施 12. } 13. } 看護管理・看護研究 14. } 15. } 職業としての看護 16. } 17. 古代における医学と看護 18. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学6 基礎看護[1] 看護概論 2020 メヂカルフレンド社 看護学入門6 基礎看護[2] 看護概論 2019</p>							
<p>参考書</p> <p>ナイチンゲールの『看護覚え書』 イラスト・図解でよくわかる！ 看護者の基本的責務 2020年版 看護の基本となるもの</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	基礎看護技術 (基礎看護技術Ⅰ)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義・演習			1年 通年	
区分	専門科目		資格	看護師	実務 経験	有・無	時間 91 / 210時間
担当者	青野容子・田渕正実 山本 和・重見友子						
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>看護を实践するうえで基本となる知識・技術を学ぶするとともに、対象に日常生活に応じた援助技術を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護行為に共通する技術の意義、種類、実践方法を理解できる。 2. 患者のニーズと日常生活の援助の基本について理解できる。 3. 患者の安全を守るための環境整備、事故防止、感染予防の技術が実践できる。 4. 日常生活における動作と運動を援助する技術を実践できる。 5. 衣服、食事、排泄、清潔の意義と、それらに関連する援助技術を実践できる。 6. 活動と休息を促す技術、褥瘡の予防について理解できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>第1章 看護行為に共通する技術</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.～3. A コミュニケーション 4.～5. B 安全・安楽 6.～7. C 姿勢と動作 8.～9. D 感染予防 <p>第2章 日常生活行動援助</p> <ol style="list-style-type: none"> 10.～13. A 日常生活行動の援助 14.～16. B 環境調整の援助 17.～19. C 活動の援助 20.～22. D 休息の援助 23.～26. E 衣生活の援助 27.～31. F 清潔の援助 32.～35. G 食事と食生活の援助 36.～38. H 排泄の援助 39.～45. 技術チェック 46. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学7 基礎看護[2] 基礎看護技術 2020 改訂 メヂカルフレンド社 看護学入門6 基礎看護Ⅰ《基礎看護技術》2019 インターメディカ 写真で分かる実習で使える看護技術アドバイス サイオ出版 根拠から学ぶ 基礎看護技術</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	基礎看護技術 (基礎看護技術Ⅱ)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義・演習			1年 通年	
区分	専門科目		資格	看護師	実務 経験	有・無	時間 119 / 210時間
担当者	青野容子・田淵正実 山本 和・重見友子						
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>看護を实践するうえで基本となる知識・技術を学ぶとともに、診察に伴う準備や介助・処置が正確かつ円滑に実施できる基礎的知識、技術を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> バイタルサイン・身体各部の計測の意義について理解し、正確に測定できる。 看護記録および報告の意義、種類、方法を理解し、記録・報告ができる。 看護過程について理解し、具体的な展開ができる。 各種の診療方法と介助の仕方を理解し実践できる。 主な検査法と検査時の看護について理解できる。 与薬、輸血、経管栄養法など、診療に伴う基本的な看護技術が実践できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>第1章 看護行為に共通する技術</p> <ol style="list-style-type: none"> ～3. E 身体を観察と測定 ～6. F 情報収集と看護過程 <p>第3章 診療に伴う援助技術</p> <ol style="list-style-type: none"> ～9. A 診療の援助 ～12. B 栄養補給法 ～15. C 導尿 ～18. D 浣腸 ～21. E ストーマケア ～24. F 罨法 ～27. G 吸入 ～30. H 吸引 ～33. I 褥瘡の予防 ～36. J 包帯法 ～40. K 与薬 L 検査における看護 M 洗浄 N 看取りの援助 ～59. 実技チェック 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学7 基礎看護[2] 基礎看護技術 2020 改訂 メヂカルフレンド社 看護学入門6 基礎看護 I《基礎看護技術》2019 インターメディカ 写真で分かる実習で使える看護技術アドバイス サイオ出版 根拠から学ぶ 基礎看護技術</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	臨床看護概論	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 2年	
区分	専門科目						
担当者	山脇増朗	資格	看護師	実務経験	有・無	時間	29 / 70時間
担当者	谷口慎也	資格	看護師	実務経験	有・無	時間	41 / 70時間

授業の目的・ねらい

健康障害を持つ患者と家族について理解し、疾病の経過や状況に応じた看護・治療や処置に伴う看護の概要について習得する。

生徒の到達目標

1. さまざまな健康状態にある患者とその家族について理解できる。
2. 疾病の経過別にそれぞれの患者の状態と治療の特徴及び看護の基礎知識が理解できる。
3. 看護師の働くさまざまな場における看護について理解できる。
4. 主要症状の病態生理と障害の概要、患者の看護の要点が理解できる。
5. 日常の診断においてよく用いられる治療・処置の概要と看護師の果たす役割が理解できる。

授業概要（授業計画）

<山脇増朗>

臨床看護概論

- 1.～8. 第5章 治療・処置を受ける患者の看護
治療法概説
- 9.～14. 第2章 手術療法
15. 筆記試験・まとめ

<谷口慎也>

臨床看護概論

- 1.～2. 第1章 患者と家族の理解
- 3.～4. 第2章 疾病の経過と患者の看護
- 5.～6. 第3章 さまざまな場における看護
- 7.～8. 第4章 症状を示す患者の看護
- 9.～10. 第5章 治療・処置を受ける患者の看護
治療法概説
- 11.～12. 第1章 薬物療法
- 13.～14. 第3章 食事療法
15. 第5章 輸液療法
16. 第6章 放射線療法
17. 第7章 透析療法
- 18.～20. 第8章 緊急時の対応
・・・心肺蘇生法・AED演習
21. 筆記試験・まとめ

教科書

医学書院 新看護学8 基礎看護[3] 臨床看護概論 2020

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	成人看護 (内科疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 2・3学期	
区分	専門科目						
担当者	小松次郎	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	15 / 216時間
担当者	小堀陽一郎	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	15 / 216時間

授業の目的・ねらい

専門基礎科目において履修した知識を基本に、主要な疾患について基礎的知識・技術を習得する。

生徒の到達目標

1. 成人患者の特徴を理解し、呼吸器、循環器、消化器、血液系、内分泌系、脳・神経系、感染症の解剖生理、検査、治療・内科的処置の基礎が理解できる。

授業概要（授業計画）

<小松次郎>

呼吸器系

第2章 おもな疾患

1. A 上気道の疾患
B 気管・気管支の疾患
2. C 肺の疾患
D 呼吸調節に関する疾患
E 胸壁・胸膜・縦隔の疾患
1 胸郭の異常
2 胸腔への体液の貯留
5 縦隔炎
6 縦隔気腫おもな疾患

循環器系

第2章 おもな疾患

3. A 生活習慣病（動脈硬化の危険因子）
B 心不全
C 不整脈
4. D 虚血性心疾患
F 心筋疾患と心膜疾患

血液系

第1章 基礎知識

5. D 主な治療・処置

第2章 おもな疾患

- A 貧血
- B 白血病
- C その他の造血器腫瘍
- D 出血性疾患

放射線治療

第1章 放射線治療 総論

6. A・B

第2章 放射線診療各論

7. A X線撮影とCT検査 1・2・3
B MRIと超音波検査 1・2・3
C I V R
D 核医学 1・2
E 放射線治療 1・2・3

8. 筆記試験・まとめ

<小堀陽一郎>

消化器系

第2章 おもな疾患

1. A 口腔・食道の疾患（食道癌を除く）
B 胃・十二指腸の疾患（4.胃癌、6.胃の手術を除く）
2. C 腸・腹膜の疾患
 - 1 腸炎
 - 5 大腸ポリープ
 - 6 大腸ポリポーシス
 - 7 大腸憩室症
 - 9 その他の腸疾患
 - 11 腹膜炎
3. D 肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓の疾患
 - 1 急性肝炎
 - 2 慢性肝炎
 - 3 肝硬変症
 - 4 門脈圧亢進症
4.
 - 5 アルコール性肝障害
 - 6 肝（臓）がん
 - 7 胆嚢の疾患（胆嚢炎・胆管炎）
 - 8 急性膵炎・慢性膵炎

内分泌系

第1章 基礎知識

5. E おもな疾患の治療・処置

第2章 おもな疾患

- A 内分泌疾患（2.甲状腺疾患を除く）
- B 代謝疾患

脳神経系

第2章 おもな疾患

6.
 - 3 神経系の感染症疾患
 - 4 神経系の変性疾患・遺伝性疾患
 - 5 脱髄疾患
 - 11 筋疾患
 - 12 中毒

感染症・寄生虫症

第1章 感染症の理解

7. A 感染症総論
B おもな感染症
8. 筆記試験・まとめ

教科書

医学書院 新看護学9 成人看護[1] 呼吸器 他 2020
医学書院 新看護学10 成人看護[2] 血液・造血器 他 2020
医学書院 新看護学11 成人看護[3] 感染症 他 2020

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	成人看護 (外科疾患)	必修・選択	授業形態		開講時期	
			講義		1年 2学期	
区分	専門科目					
担当者	竹内浩紀	資格	医師	実務 経験	有・無	時間 29 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい 専門基礎科目において履修した知識を基本に、主要な疾患について基礎的知識・技術を習得する。</p>						
<p>生徒の到達目標 1. 成人患者の特徴を理解し、呼吸器、循環器、消化器、内分泌系、脳・神経系の解剖生理、検査、治療・外科的処置の基礎が理解できる。</p>						
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>呼吸器系 第1章 基礎知識 1. D 主な治療・処置 E おもな手術 第2章 おもな疾患 2. E 胸壁・胸膜・縦隔の疾患 3 気胸 4 胸膜腫瘍 7 縦隔腫瘍 F 呼吸器の腫瘍性疾患 G 胸部外傷</p> <p>循環器系 第1章 基礎知識 3. D 主な治療・処置 第2章 おもな疾患 4. E 心臓弁膜症 G 血管疾患 H 心臓の腫瘍</p> <p>消化器系 第2章 おもな疾患 5. A 口腔・食道の疾患 5 食道がん 6. B 胃・十二指腸の疾患 4 胃がん 6 胃の手術 7. C 腸・腹膜の疾患 2 イレウス（腸閉塞症） 3 虫垂炎 4 ヘルニア 8. 8 大腸がん 10 肛門部の疾患 9. D 肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓の疾患 7-1 胆石症 7-4 胆嚢がん 7-5 胆管がん 10. 9 膵臓がん 10 脾臓の疾患</p>						

- 11. E 急性腹症
F 腹部外傷
- 内分泌系
 - 第2章 おもな疾患
 - A 内分泌疾患
 - 2 甲状腺疾患
- 脳・神経系
 - 第1章 基礎知識
- 12. C 主な検査
- 13. D 主な治療
 - 第2章 おもな疾患
- 14. 1 脳血管障害
 - 2 脳腫瘍
 - 6 頭部外傷
- 15. 筆記試験・まとめ

教科書

医学書院 新看護学9 成人看護[1] 成人看護総論 呼吸器 循環器 消化器 2020
医学書院 新看護学10 成人看護[2]
血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 2020

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	成人看護 (運動器疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 2学期	
区分	専門科目						
担当者	三木冬人	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	11 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい 成人患者の特徴を理解し、運動器疾患を理解するための基礎知識を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動器の解剖生理、検査、治療・処置の基礎が理解できる。 2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な運動器疾患について理解できる。 3. リハビリテーションの実際について、基礎的な内容が理解できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>呼吸器系</p> <p>第1章 基礎知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A 運動器のしくみとはたらき B 診察と検査 C おもな治療法 <p>第2章 おもな疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. A 外傷性疾患 B 感染症疾患 C 関節リウマチとその類縁疾患 3. D 関節リウマチとその類縁疾患 E 変形性関節症とその類縁疾患 F 変形性脊髄症とその類縁疾患 G 四肢循環障害と阻血性壊死性疾患 H 四肢・脊椎の変形をきたす疾患 4. I 主要および腫瘍性疾患 J 神経疾患 K 運動器不安定症・ロコモティブシンドローム <p>[特論]リハビリテーション看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 第1章 リハビリテーションと看護 A リハビリテーションとは 第2章 リハビリテーションと実際 B リハビリテーションの内容 6. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学10 成人看護[2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	成人看護 (腎・泌尿器疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 3学期	
区分	専門科目						
担当者	丹司 望	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	7 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人患者の特徴を理解し、腎・泌尿器疾患を理解するための基礎知識を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <p>1. 腎・泌尿器の解剖生理、検査、治療・処置の基礎が理解できる。 2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な腎・泌尿器疾患が理解できる。</p>							
<p>授業概要 (授業計画)</p> <p>第1章 基礎知識</p> <p>1. A 腎・泌尿器のしくみとはたらき B 症状とその病態治療 C 診察・検査とその介助 D 治療・処置とその介助 E おもな手術</p> <p>第2章 おもな疾患</p> <p>2. A 腎臓・尿管の疾患 B 膀胱の疾患 C 尿道の疾患 D 前立腺の疾患 E 陰茎の疾患 F 陰囊・処置とその介助 G 性分化異常 H 尿 I 尿路結石症 J 性感染症 (STD/STI)</p> <p>第3章 患者の看護</p> <p>3. A 共通する看護 B 症状に対する看護 C 検査を受ける患者の看護 D 治療・処置を受ける患者の看護 E 腎疾患患者の看護 F 泌尿器・生殖器疾患患者の看護 G 生活習慣病に起因する腎疾患患者の看護</p> <p>4. 筆記試験・まとめ</p>							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学11 成人看護[3] 腎泌尿器 他 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	成人看護 (皮膚疾患・膠原病)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 3学期	
区分	専門科目						
担当者	徳丸良太	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	7 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人患者の特徴を理解し、皮膚疾患・膠原病を理解するための基礎知識を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <p>1. 皮膚の解剖生理、検査、治療・処置の基礎が理解できる。 2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な皮膚疾患・膠原病が理解できる。</p>							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>皮膚疾患患者の看護</p> <p>1. 第1章 基礎知識</p> <p> A 皮膚のしくみとはたらき</p> <p> B 症状とその病態生理</p> <p> C 診察・検査とその介助</p> <p> D 治療とその介助</p> <p>2. 第2章 おもな疾患</p> <p> A 表皮性皮膚疾患</p> <p> B 血管・リンパ管の疾患</p> <p> C 物理・化学的皮膚疾患</p> <p> D 腫瘍・色素異常症</p> <p> E 皮膚付属器疾患</p> <p> F 感染症</p> <p>第3章 患者の看護</p> <p> A 共通する看護</p> <p> B 症状に対する看護</p> <p> C 検査を受ける患者の看護</p> <p> D 治療・処置を受ける患者の看護</p> <p> E 腎疾患患者の看護</p> <p> F 泌尿器・生殖器疾患患者の看護</p> <p>アレルギー・膠原病患者の看護</p> <p>3. 第1章 基礎知識</p> <p> A 免疫系のしくみとはたらき</p> <p> B 症状とその病態生理</p> <p>第2章 おもな疾患</p> <p> A 日常業務で注意すべきアレルギー</p> <p> B おもな膠原病</p> <p>第3章 患者の看護</p> <p> A 共通する看護</p> <p> B アレルギーをもつ患者の看護</p> <p> C 膠原病をもつ患者の看護</p> <p>4. 筆記試験・まとめ</p>							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学11 成人看護[3] 皮膚 アレルギー・膠原病 他 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	成人看護 (眼科疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 3学期	
区分	専門科目						
担当者	寄井秀樹	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	9 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人患者の特徴を理解し、視覚系疾患を理解するための基礎知識を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視覚系の解剖生理、検査、治療・処置の基礎が理解できる。 2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な眼科疾患を理解できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> A 視神経のしくみとはたらき B 症状とその病態生理 C おもな検査 D おもな治療法 2. 第2章 おもな疾患 <ol style="list-style-type: none"> A 視機能の障害 B 部位別の障害 C 眼外傷 3. 第3章 患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> A 共通する看護 B 症状に対する看護 C 診察・検査を受ける患者の看護 4. D 治療・処置を受ける患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> E 眼疾患患者の看護 F 低視力者の看護 5. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学12 成人看護[4] 眼 耳鼻咽喉 歯・口腔 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	成人看護 (耳鼻咽喉科疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 3学期	
区分	専門科目						
担当者	水越 肇	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	7 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい 成人患者の特徴を理解し、耳鼻咽喉疾患を理解するための基礎知識を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標 1. 耳鼻咽喉の解剖生理、検査、治療・処置の基礎が理解できる。 2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な耳鼻咽喉疾患が理解できる。</p>							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> A 耳鼻咽喉のしくみとはたらき B おもな症状 C おもな検査とその介助 D おもな治療法とその介助 E おもな手術 2. 第2章 おもな疾患 <ol style="list-style-type: none"> A 耳の疾患 B 鼻の疾患 C 咽頭・喉頭の疾患 D 気管・食道異物 3. 第3章 患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> A 共通する看護 B 症状および障害に対する看護 C 診察・検査を受ける患者の看護 D 治療・処置を受ける患者の看護 E 耳鼻咽喉疾患患者の看護 F 手術を受ける患者の看護 G 放射線治療を受ける患者の看護 4. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書 医学書院 新看護学12 成人看護[4] 眼 耳鼻咽喉 歯・口腔 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法 出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	成人看護 (歯・口腔疾患)	必修・選択	授業形態		開講時期	
			講義		1年 3学期	
区分	専門科目					
担当者	別府祐次	資格	医師	実務 経験	有・無	時間 7 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人患者の特徴を理解し、歯・口腔疾患を理解するための基礎知識を習得する。</p>						
<p>生徒の到達目標</p> <p>1. 歯・口腔の解剖生理、検査、治療・処置の基礎が理解できる。</p> <p>2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な歯・口腔疾患が理解できる。</p>						
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>1. 第1章 基礎知識</p> <p> A 歯・口腔のしくみとはたらき</p> <p> B おもな症状と病態生理</p> <p> C おもな診査・検査と介助</p> <p> D 前処置</p> <p> E おもな治療および処置</p> <p>2. 第2章 おもな疾患</p> <p> A 歯の疾患</p> <p> B 歯周組織の疾患</p> <p> C 口腔粘膜・顎骨の疾患</p> <p> D 唾液腺・神経疾患</p> <p>3. 第3章 患者の看護</p> <p> A 共通する看護</p> <p> B 症状および機能障害に対する看護</p> <p> C 治療・処置を受ける患者の看護</p> <p> D 歯・口腔疾患患者の看護</p> <p>4. 筆記試験・まとめ</p>						
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学12 成人看護[4] 眼 耳鼻咽喉 歯・口腔 2020</p>						
<p>参考書</p>						
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>						

科目名	成人看護 (内科看護)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 2学期	
区分	専門科目						
担当者	安野和美	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	11 / 216時間
担当者	青野容子	資格	看護教員	実務 経験	有・無	時間	27 / 216時間

授業の目的・ねらい

成人看護の対象の特徴を多面的に把握し、さまざまな状態にある対象の看護の概要を習得する。

生徒の到達目標

1. 呼吸器、循環器、消化器、血液系、内分泌系、脳・神経系、運動器、感染症の内科的治療の必要な患者の看護について、診察や治療などの補助、症状への対応、疾患をもつ患者への療養指導など、看護の実践ができる。

授業概要（授業計画）

<青野容子>

成人看護総論

1. A 成人看護の対象
B 成人の健康の動向
2. C 健康状態に応じた臨床看護実践

[特論]放射線診療と看護

第1章 基礎知識

3. C 放射線被曝と放射線防護
- 第2章 放射線診療各論
4. 4 放射線治療における看護

成人看護総論

5. 第5章 内科的治療・処置を受ける患者の看護
K 放射線療法を受ける患者の看護
6. 筆記試験・まとめ

<安野和美>

臨床看護概論

1. } 第4章 症状を示す患者の看護 患者の看護 A～F
2. }

呼吸器系

看護の役割

3. 第1章 基礎知識 A～C
4. 第3章 患者の看護 A～E

循環器系

看護の役割

5. 第1章 基礎知識 A～C
6. 第3章 患者の看護 A～G

消化器系

看護の役割

7. 第1章 基礎知識 A～D
8. 第3章 患者の看護 A～D

血液系

看護の役割

9. 第1章 基礎知識 A～C
10. 第3章 患者の看護 A～E

内分泌系

看護の役割

11. 第1章 基礎知識 A～D
- 第3章 患者の看護 A～C

脳・神経系

看護の役割

12. 第1章 基礎知識 A～B

第3章 患者の看護

13. A 共通する看護

B 診察・検査を受ける患者の看護

C 症状および障害に対する看護

(2. 頭蓋内圧更新症状のある患者の看護 3. 運動麻痺のある患者の看護を除く)

D 脳・神経疾患患者の看護

1 脳血管障害患者の看護

3 パーキンソン病患者の看護

4 髄膜炎・脳炎患者の看護

感染症・寄生虫症

第2章 患者の看護

A 共通する看護

14. 筆記試験・まとめ

教科書

医学書院	新看護学9	成人看護[1]	成人看護総論	呼吸器	循環器	消化器	2020
医学書院	新看護学10	成人看護[2]	血液・造血器	内分泌・代謝	脳・神経	運動器	2020
医学書院	新看護学11	成人看護[3]	腎・泌尿器	女性生殖器	他		2020
医学書院	新看護学8	成人看護[3]	臨床看護概論				2020

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	成人看護 (外科看護)	必修・選択	授業形態		開講時期	
			講義		1年 2・3学期	
区分	専門科目					
担当者	重見美代子	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間 29 / 216時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人看護の対象の特徴を多面的に把握し、さまざまな状態にある対象の看護の概要を習得する。</p>						
<p>生徒の到達目標</p> <p>1. 呼吸器、循環器、消化器、血液系、内分泌系、脳・神経系、運動器、女性生殖器の外科的治療に必要な患者の看護について、診察や治療などの補助、症状への対応、疾患をもつ患者への療養指導など、看護の実践が理解できる。</p>						
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>第3章 患者の看護</p> <p>呼吸器系</p> <p>1. } F 手術を受ける患者の看護</p> <p>2. }</p> <p>循環器系</p> <p>3. } F 手術を受ける患者の看護</p> <p>4. }</p> <p>消化器系</p> <p>5. } E 手術を受ける患者の看護</p> <p>6. }</p> <p>内分泌系</p> <p>7. } D 手術を受ける患者の看護</p> <p>8. }</p> <p>脳・神経系</p> <p>9. C 症状および障害に対する看護</p> <p>2 頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護</p> <p>3 運動麻痺のある患者の看護</p> <p>D 主な疾患患者の看護</p> <p>2 脳腫瘍患者の看護</p> <p>5 頭部外傷患者の看護</p> <p>10. E 手術（開頭術）を受ける患者の看護</p> <p>1 入院から手術まで（手術前）の看護</p> <p>2 手術直後からドレーン抜去までの看護</p> <p>3 ドレーン抜去から退院までの看護</p> <p>運動器</p> <p>11. A 共通する看護</p> <p>12. B 症状に対する看護</p> <p>C 診察・検査を受ける患者の看護</p> <p>13. D 治療・処置を受ける患者の看護</p> <p>E 運動器疾患患者の看護</p> <p>女性生殖器</p> <p>14. D 治療・処置を受ける患者の看護</p> <p>2 乳房の手術を受ける患者の看護</p> <p>15. 筆記試験・まとめ</p>						

教科書

医学書院	新看護学9	成人看護[1]	成人看護総論	呼吸器	循環器	消化器	2020
医学書院	新看護学10	成人看護[2]	血液・造血器	内分泌・代謝	脳・神経	運動器	2020
医学書院	新看護学11	成人看護[3]	腎・泌尿器	女性生殖器	他		2020
医学書院	新看護学8	成人看護[3]	臨床看護概論				2020

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	老年看護	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			2年 通年	
区分	専門科目						
担当者	眞鍋誠子	資格	看護教員	実務経験	有・無	時間	5 / 216時間
担当者	重見美代子	資格	看護師	実務経験	有・無	時間	37 / 216時間

授業の目的・ねらい

高齢者の理解に必要な基本的事項を学び、老年看護の視点と実践を理解する。
老年看護の基本的援助の視点とその方法について理解する。

生徒の到達目標

1. 高齢者を取り巻く社会と生活を理解し、生活者としての高齢者の視点から老年看護が理解できる。
2. 高齢者と家族を支える保健・医療・福祉制度を知り、様々な場面における看護職の役割が理解できる。

授業概要（授業計画）

<眞鍋誠子>

第1章 高齢者の理解

1. A 人としての高齢者を理解する
B 加齢による身体的側面の変化
2. C 加齢による心理・社会的側面の変化
D 高齢者と発達課題
3. 筆記試験・まとめ

<重見美代子>

第2章 高齢者を取り巻く社会と社会システム

1. A 高齢社会の統計的理解
B 保健医療福祉のしくみ
2. C 高齢者の権利擁護
D 高齢者にとっての家族

第3章 高齢者の暮らしを支える看護の視点

3. A 高齢者看護の視点
B 高齢者と健康増進（ヘルスプロモーション）
4. C 高齢者と自立支援
D 高齢者と障害受容
5. E 看護視察と看護記録
F 高齢者とコミュニケーション

第4章 高齢者の暮らしを支える看護の実際

6. A 健康生活の維持
7. B 高齢者の生活とリスクマネジメント

第5章 高齢者の病態、疾患と看護

8. A 高齢者に多い疾患とその特徴
9. B 系統別にみる症状・疾患と看護

第6章 治療・処置を受ける高齢者の看護

10. A 外来受診をする高齢者の看護
B 検査を受ける高齢者の看護
11. C 薬物療法を受ける高齢者の看護
D 入退院を必要とする高齢者の看護
12. E 手術を受ける高齢者の看護
F 救急対応を要する高齢者の看護

- 第7章 高齢者が豊かに生きるために
- 13. A 自分の世界を生きる - 認知症高齢者の看護
 - B 高齢者のリハビリテーション
 - 14. C 高齢者のセクシュアリティ
 - D アクティビティ
 - 15. E 別れを迎えるとき - エンドオブライフケア
- 第8章 高齢者の暮らしの場と看護
- 16. A 在宅生活の看護
 - 17. B 施設生活と看護
 - 18. C 家族への看護
19. 筆記試験・まとめ

教科書

医学書院 新看護学13 老年看護 他 2020

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	母子看護 (女性生殖器疾患)	必修・選択	授業形態		開講時期	
			講義		2年 2学期	
区分	専門科目					
担当者	堀 玲子	資格	医師	実務 経験	有・無	時間 7 / 74時間
<p>授業の目的・ねらい 成人患者の特徴を理解し、女性生殖器疾患を理解するための基礎知識を習得する。</p>						
<p>生徒の到達目標 1. 女性生殖器の解剖生理、検査、治療・処置の方法が理解できる。 2. 専門基礎分野において履修した知識を基本に、主要な女性生殖器疾患について理解できる。</p>						
<p>授業概要 (授業計画)</p> <p>第1章 基礎知識 1. A 女性生殖器のしくみとはたらき B 症状とその病態生理 C 診察および検査 D 治療および処置</p> <p>第2章 おもな疾患 2. A 月経の異常 B 外陰・膣の疾患 C 発生・発育の異常 D 子宮の疾患 E 付属品の疾患 3. F 骨盤内の疾患 G 不妊症・不育症 H 更年期障害 I 乳房の疾患 J 性感染症 (STD/STI)</p> <p>4. 筆記試験・まとめ</p>						
<p>教科書 医学書院 新看護学11 成人看護[3] 女性生殖器 他 2020</p>						
<p>参考書</p>						
<p>成績評価方法 出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>						

科目名	母子看護 (母性疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
区分	専門科目		講義			1年 2学期	
担当者	村上祥子	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	9 / 74時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>母性看護の特性及び母性を取り巻く状況を理解し、妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護に必要な知識・技術・態度を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正常な周産期各期の生理的な変化を学び、保健指導と看護を行うための基礎知識、技術が理解できる。 2. 異常な経過をたどる周産期の母児の病態生理を学び、異常時の適切な医療処置の方法が理解できる。 							
<p>授業概要 (授業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第3章 正常な妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護 <ol style="list-style-type: none"> A 1. 妊娠の生理 2. 妊婦の生理的变化 3. 妊婦の健康診査 B 1. 分娩の生理 C 1. 産褥の生理 D 1. 新生児とは 2. 新生児の生理 2. 第4章 周産期の母児の疾患と看護 <ol style="list-style-type: none"> A 1. 母体と胎児の状態評価する方法 2. 妊娠初期の異常 3. 妊娠中期・後期の異常 B 1. 胎児機能不全 2. 分娩経過の評価法 3. 産道の異常 4. 娩出力・陣痛の異常 5. 胎児および胎児付属物の異常 6. 分娩時の母体損傷・異常出血 7. 産科ショック 8. 産科DIC (播種性血管内凝固症候群) 3. C 1. 産褥熱 2. 産褥静脈血栓・寒栓症 3. 子宮復古不全 4. 尿路感染症 5. 乳房の異常 6. 産褥期の精神障害 D 1. 新生児仮死 2. 新生児感染症 3. 分娩による児の損傷 4. 新生児黄疸 5. 新生児出血性疾患 6. 低出生体重児 7. 先天異常 E 1. ハイリスク妊娠 2. 感染症 3. 心疾患 4. 高血圧 5. 糖尿病 6. 甲状腺疾患 7. 腎疾患 8. 血液疾患 9. 気管支喘息 10. 自己免疫疾患 11. 婦人科疾患 12. 精神・神経疾患 F 1. 子宮頸管拡張術 2. 人工妊娠中絶 3. 子宮頸管縫縮術 4. 分娩誘発・促進法 5. 会陰切開 6. 鉗子・吸引分娩 7. 骨盤位牽出術 8. 帝王切開術 9. 子全摘術・子宮膣上部切開術 10. 産科麻酔 <ol style="list-style-type: none"> 4. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学14 母子看護：母性看護 他 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	母子看護 (母性看護)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 3学期	
区分	専門科目						
担当者	古浦和香	資格	助産師	実務 経験	有・無	時間	21 / 74時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>成人患者の特徴を理解し、女性生殖器疾患患者の看護について習得する。 母性看護の特徴を知り、一生を通じた母性の健康を保持・増進し、疾病を予防し、正常な妊娠・分娩・産褥期の援助するための知識と技術を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 母性保健の概要を学び、母性看護の意義と役割が理解できる。 2. 正常な周産期各期の生理的な変化を学び、保健指導と看護が理解できる。 3. 異常な経過をたどる周産期の母児の適切な看護について理解する。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>女性生殖器疾患患者の看護 看護の役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 患者の看護 <ol style="list-style-type: none"> A 共通する看護 B 症状に対する看護 C 診察・検査を受ける患者の介助 D 治療・処置を受ける患者の看護 E 女性生殖器疾患患者の看護 <p>母性看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 第1章 母性看護概論 3. 第2章 ライフサイクル各期の特徴と看護 4. 第3章 正常な妊娠・産婦・褥婦・新生児の看護 5. A4 妊婦の看護 A5 妊婦の心理・社会的特性 6. B2 産婦の看護 B3 産婦の心理 7. C2 褥婦の看護 C3 産婦の心理・社会的特性 8. D3 新生児の看護 <p>第4章 周産期の母児の疾患と看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. A4 妊娠の異常と看護 B9 分娩の異常と看護 10. C7 産褥の異常と看護 D8 新生児の異常と看護 <ol style="list-style-type: none"> 11. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学11 成人看護[3] 女性生殖器 他 2020 医学書院 新看護学14 母子看護：母性看護 他 2020 メヂカルフレンド社 看護学入門9 成人看護Ⅱ 女性生殖器疾患患者の看護 他 2020 メヂカルフレンド社 看護学入門12 母子看護：母性の看護 他 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	母子看護 (小児疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 1学期	
区分	専門科目						
担当者	石井榮一	資格	医師	実務 経験	有・無	時間	13 / 74時間
<p>授業の目的・ねらい 成人とは異なる小児の疾患特徴を知り、各系統別の疾患について習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標 1. 小児のおもな各系統別疾患の病態、検査・診断、治療について理解できる。</p>							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>第4章 小児疾患の患児の看護</p> <p>1. B 新生児疾患患児の看護 1・2・3・4 C 感染症患児の看護 1・2・3 D アレルギー疾患患児の看護 1</p> <p>2. E 消化器疾患患児の看護 1・2・3・4 F 呼吸器疾患患児の看護 1・2・3・4・5 G 循環器疾患患児の看護 1・2・3</p> <p>3. H 血液疾患患児の看護 1・2・3 I 腎泌尿器・生殖器疾患患児の看護 1・2 J 成長および発育の障害 K 内分泌疾患患児の看護 1</p> <p>4. L 代謝性疾患患児の看護 1 M 小児がん患児の看護 1・2 N 神経・筋疾患患児の看護 1・2・3・4・5・6・7・8 O 皮膚疾患患児の看護 1</p> <p>5. P 精神疾患患児の看護 Q 整形外科疾患患児の看護 1 R 口腔外科疾患患児の看護 1</p> <p>6. S 眼科疾患患児の看護 1 T 耳鼻咽喉科疾患患児の看護 1 U 膠原病・免疫疾患患児の看護 1 V その他の疾患患児の看護</p> <p>7. 筆記試験・まとめ</p>							
<p>教科書 医学書院 新看護学14 母子看護：小児看護 他 2020 メヂカルフレンド社 看護学入門12 母子看護 母子看護：小児の看護 他 2019</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法 出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	母子看護 (小児看護)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			1年 1学期	
区分	専門科目						
担当者	川森淳子	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	19 / 74時間
担当者	重見友子	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	5 / 74時間

授業の目的・ねらい

小児看護の対象の特徴を多面的に把握し、小児保健の概要について習得する。
小児看護の対象に応じた日常生活の援助と診療時の補助技術を習得する。

生徒の到達目標

1. 小児の特徴、成長・発達と生理を理解し、栄養及び養護について理解できる。
2. 小児看護の機能と役割を理解し、小児看護に必要な援助法が理解できる。
3. 小児のおもな疾病の概要を学び、健康障害の状態に応じた看護について理解できる。

授業概要（授業計画）

<川森淳子>

第2章 小児の看護

1. B 子どもの成長・発達と生理
C 子供の栄養
D 子供の養護としつけ
E 疾病の予防と予防接種
2. F 子供の精神保健
G 子供と社会

第3章 子供の診療と看護

3. A 病気をもつ子どもの診療と看護
B 入院環境と患児・家族へのかかわり
C 小児看護の基礎技術
D 子どものおもな症状と看護
F 救急看護

第4章 小児疾患児の看護

4. A 小児疾患概論
B 新生児疾患患児の看護
C 感染症患児の看護
D アレルギー疾患患児の看護
5. E 消化器疾患患児の看護
F 呼吸器疾患患児の看護
6. G 循環器疾患患児の看護
H 血液疾患患児の看護
I 腎泌尿器疾患患児の看護
J 成長および発育の障害
7. K 内分泌疾患患児の看護
L 代謝性疾患患児の看護
M 小児がん患児の看護
N 神経・筋疾患患児の看護
8. O 皮膚疾患患児の看護
P 精神疾患患児の看護
Q 整形外科疾患患児の看護
R 口腔外科疾患患児の看護
9. S 眼科疾患患児の看護
T 耳鼻咽喉科疾患患児の看護
U 膠原病・免疫疾患患児の看護
V その他の疾患患児の看護

10. 筆記試験・まとめ

<重見友子>

- 第1章 小児看護概論
1. A 子どもとは
 - B 小児看護とは
 - C 小児看護を取り巻く環境
- 第2章 小児看護の基礎
2. A 母子保健の動向
3. 筆記試験・まとめ

教科書

医学書院 新看護学14 母子看護：小児看護 他 2020
メヂカルフレンド社 看護学入門12 母子看護 母子看護：小児の看護 他 2019

参考書

成績評価方法

出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。

科目名	精神看護 (精神保健)	必修・選択	授業形態			開講時期	
区分	専門科目		講義			1年 2学期	
担当者	新井基夫	資格	精神保健 福祉士	実務 経験	有・無	時間	21 / 71時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>精神看護の対象、目的、意義について学ぶとともに心の健康、精神保健福祉の概要について習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の心の健康を成長・発達・社会適応の面から捉え、精神の健康保持増進を図るために基礎的知識を理解できる。 2. 精神保健医療福祉の歴史の変遷から、患者の人権をまもることの重要性を理解できる。 3. わが国の精神医療・精神保健に関して制定された法規を理解できる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1章 心の健康 <ol style="list-style-type: none"> 1. A 人間の心とはなにか 2. B 発達と心の課題 3. C 心の健康と環境 第6章 子供の診療と看護 <ol style="list-style-type: none"> 4. A 精神医療と患者処遇の歴史 B わが国の精神保健医療福祉のあゆみ 第7章 精神保健医療福祉の法律 <ol style="list-style-type: none"> 5. A 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法） 6. B 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法） 7. C 障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法） 8. D 介護保険法 9. E 医療法 10. F 精神疾患を有するものの保護及びメンタルヘルスケアの改善のための諸原則（国連原則） G 障害者の権利に関する条約 11. 筆記試験・まとめ 							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学15 精神看護 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	精神看護 (精神疾患)	必修・選択	授業形態			開講時期	
区分	専門科目		講義			1年 2学期	
担当者	伊藤益一	資格	臨床心理士	実務 経験	有・無	時間	21 / 71時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>おもな精神障害の症状、検査・診断、治療法についての基礎的知識を習得する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <p>1. 精神障害の原因や種類について学び、症状と状態を理解できる。 2. 精神障害の診察と検査、治療法が理解できる。</p>							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>第3章 精神症状と精神障害の理解</p> <p>1. } A おもな精神症状と精神障害の理解 2. }</p> <p>3. B 精神科医療における診察と検査 4. C おもな精神障害とその分類</p> <p>第4章 精神障害のおもな治療</p> <p>5. A 治療の場 6. B 身体療法 7. C 精神療法 8. 9. } D 精神科リハビリテーション 10. }</p> <p>11. 筆記試験・まとめ</p>							
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学15 精神看護 2020</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	精神看護 (精神看護)	必修・選択	授業形態		開講時期	
			講義		1年 2学期	
区分	専門科目					
担当者	岡田慎治	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間 29 / 71時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>精神障害をもつ対象の日常生活援助と診察の補助及び精神保健福祉における看護の役割について習得する。</p>						
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の目的と機能および看護の特性が理解できる。 2. 精神疾患患者に対する看護の実際をさまざまな側面から、総合的に理解できる。 3. 今日の精神看護の抱える問題と今後の課題について理解し、看護の役割を考えることができる。 						
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>第2章 精神看護の特質</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. } A 精神看護とはなにか 2. } 3. B 精神看護の動向 4. C 看護の機能と役割 <p>第5章 おもな疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. } A 観察・コミュニケーション 6. } 7. B 精神障害者の行動制限と人権の確保 8. C 問題となる症状に対する看護 9. D 治療時の看護 10. E 外来患者の看護 11. F 入院患者の看護 12. G リハビリテーション看護 13. H 精神医療におけるチーム医療・リエゾン精神看護 14. I 地域で生活する患者の看護 <p>15. 筆記試験・まとめ</p>						
<p>教科書</p> <p>医学書院 新看護学15 精神看護 2020</p>						
<p>参考書</p>						
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>						